

2024 年度 部局 FD 活動報告

獣医学部・研究科

1. 各部局のFDの検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）
- ・ 「授業振り返り（授業アンケート）」に対する教員コメントの入力を推進した。
 - ・ 学部（学類）生（1～4回生）の単位修得状況を保証人へ連絡するとともに、成績状況を把握することで学生に対する個別指導に役立てた。
 - ・ 複数の講義で独自に授業内容に関する学生へのアンケート調査を実施した。
 - ・ 卒業研究の実施内容等の改善のため、卒研委員会および教員会議で議論を行い、その情報を全教員で共有した。
 - ・ 2024年度のGPC成績一覧表を教員会議内で開示し、最適化に向けて情報共有を行い、学部・学類教育運営委員会でも改善に向けて検討した。
 - ・ 著名な研究者を招聘し、獣医学専攻教員・学生の知識向上のための集談会を実施した。
 - ・ 獣医臨床センターの教員ならびにスタッフの飼い主様への対応を向上させるための研修を実施した。
 - ・ 獣医臨床センターの教員ならびにスタッフの臨床技術を向上させるためにOMU-VMCセミナーを実施した。
 - ・ 獣医臨床センターの教員ならびにスタッフに対して生命倫理と安全管理に関する研修を実施した。

2. 教育改善・教育評価・FDに関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催

開催日	内容（タイトル）	参加者数
2024年6月21日	獣医学国際オープンセミナー「Thermoregulation and heat illness in exercising horses」 Elisabeth-Lidwien J.M.M.先生（The University of Adelaide）	20名
2024年6月22日、7月6日、11月16日および30日、12月14日、1月11日	医療面接スーパーバイザー研修（医療面接実習を行う際のスーパーバイザーに関する研修）	20名
2024年10月2日	獣医学オープンセミナー「腸内細菌と食中毒菌の機能解明ならびにワクチン・診断法の開発」 國澤 純 先生（医薬基盤・健康・栄養研究所）	20名
2024年11月13日	獣医学オープンセミナー「自然宿主モデルとしてのゾウリムシの活用」 度会 雅久 先生（山口大学共同獣医学部）	20名
2024年11月22日	獣医学オープンセミナー「持続感染ウイルスの病原性とその治療法の探索」 本田 知之 先生（岡山大学）	15名
2024年12月5日	獣医学オープンセミナー「豚病原性大腸菌の多剤耐性」 楠本 正博 先生（農研機構動物衛生研究部門）	20名

2024年12月13日	獣医学オープンセミナー「家畜の生産性向上を目的とした粘膜免疫学研究の最前線」野地 智法 先生（東北大学）	20名
2024年12月24日	獣医学国際オープンセミナー「Antimicrobial resistance: a Major Challenge to One Health」Qijing Zhang 先生（Iowa State University）	20名
2024年11月25日	第1回りんくう研究セッション、細見 晃司（本学准教授）	10名
2025年1月15日	獣医学国際オープンセミナー「Current situation on gastrointestinal parasite infections in domestic animals and environmental contaminations in Bangkok, Thailand」Tawin Inpankaew 先生（Kasetsart University）	15名
2025年2月4日	獣医学国際オープンセミナー「Phage therapy in veterinary medicine -from the lab to the field-」Damien Thiry 先生（University of Liège）	20名
2025年2月13日	獣医学オープンセミナー「新たな視点からみる感染症」飯田 哲也 先生（大阪大学微生物病研究所）	20名
3. 教育改善・教育評価・FDに関する会議、委員会等の開催		
会議・委員会名	内容・開催日 （複数回の場合は「第1回（*月*日）～について」 「第2回…」と記載）	委員の人数
学部・学類教育運営委員会	カリキュラムおよび授業実施方法、GPCの結果について、最適化に向けた情報共有と検討（2025年1月21日）	10
CBT運営委員会	CBTの実施および運営等に関する検討（2024年4月～2025年2月まで、メール等による検討は15回以上）	7
図書委員会	りんくう図書館委員会を2回開催。図書室の利用、蔵書、および管理運営について審議（第1回6月25日（火）、第2回10月3日（木））	6
4. 上記以外の教育改善・FDに関する取組		
特になし		
5. 年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 [実数]（必ずご記入ください）		
・年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数（45）人		
・所属内の専任教員の人数（45）人		
6. その他、追記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・卒研検討委員会（委員9名）にて、5月の獣医学演習の実施、そして12月の卒業研究発表会および学生の発表内容等について改善を図るために意見交換と討議を行い、その内容を教員会議で情報共有を行った。（1年間で、対面、Zoomおよびメール審議含め、数十回程度の打ち合わせを実施）。 ・OSCE委員会（委員16名）では、2024年度のOSCE本試験の実施およびこれに向けた実習の改善と審査を担当する教員の訓練の実施等について、検討を行った。具体的には、主に委員長と4分野の責任者間でメールや電話 		

連絡による打合せと情報共有を行った（1年間で数十回程度の打ち合わせを実施）。また、これ以外にも、各試験分野の実施内容について分野責任者が全大学の責任者と直接やり取りし、委員会で情報共有を行った。